

## 令和4年度の学校評価自己評価結果

重点目標	①児童生徒及び教職員の人権が守られるよう、教職員が一致団結して環境を整える。 ②児童生徒が安心して学習できる場となるように環境整備を進める。 ③キャリア教育の視点での授業改善に取り組み、一貫性のあるかつ多様な学びの場を目指す。 ④交流校や関係諸機関との連携を進め、卒業後も見据えた連携体制を整える。 ⑤学校内外の研修の機会をとおして肢体不自由教育における専門性の向上に努める。 ⑥学校規模の縮小に合わせ、業務内容を精選し、教職員の多忙化を改善して教育活動を充実させる。	
	具体的方策	取組結果(自己評価)
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権に対する知識や理解を深める。</li> <li>人権週間の取組や人権集会を継続して実施する。</li> </ul>	<p>人権週間に、人権擁護委員に来校していただき、人権に関する集会を行った。差別・偏見ゼロを目指し、児童生徒の好きなところを掲示板に貼りだして互いを認め合う活動を行った。</p>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で安心できる形の儀式を実施する。</li> </ul>	<p>今年度も感染状況に応じて儀式の計画を練り、感染予防措置を講じた児童生徒にとって安心安全な儀式を実施することができた。校歌の歌唱については、状況に応じてだが声を出して行うことができた。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒、全職員が健康で安全に学校生活を送れるようにする。</li> </ul>	<p>前年度に引き続きコロナ対策を全職員で丁寧に行い、校内での感染事例は発生しなかった。給食配膳のチェック体制をより強化するとともに、異物混入等の際の全校連絡方法を全職員で共有し実践した。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的な防災訓練に取り組む。</li> </ul>	<p>立地条件に伴った分散避難の工夫や実践を行った。災害時は、被害の状況に応じた臨機応変な対応が必要になるため、互いに声を掛け合い、落ち着いて行動することが課題である。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒情報発表時に安全・迅速に避難できるよう安全指導を行う。</li> </ul>	<p>緊急時に安全・迅速に行動できるよう、安全指導を年間6回、避難訓練を4回行った。避難マニュアルを見直し、避難場所や避難経路の確認や変更点を職員間で話し合い、共通理解を図った。</p>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に基づき、キャリア教育の視点から授業改善、学習評価に努める。</li> </ul>	<p>学習指導要領の内容を基に、適切な目標や評価について周知した。個別の教育支援計画を基に指導計画を作成し、教員間で情報共有することで、キャリア教育の視点を取り入れた授業改善に取り組んだ。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動において、情報機器や支援機器が有効に活用できるようにする。</li> </ul>	<p>ICT支援員を活用し、児童生徒用タブレット端末の環境整備やメンテナンスを定期的に行った。教職員対象に、TeamsやForms等の活用基礎研修を完了した。</p>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後の生活を見据え、進路に関する情報を家庭と学校が共有し、系統的な進路指導を推進する。</li> </ul>	<p>進路だよりや進路ガイド、福祉サービス説明会などで福祉事業所の情報や卒業生の様子、進路についての情報を提供した。各部の進路に関する取組の内容を共有し、進路指導を行った。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会でよりよい生活ができるように個の教育的ニーズに応じた支援を進める。</li> </ul>	<p>児童生徒の現在とともに将来の生活を見通した支援について、関係機関とケース会議を開催し、必要な情報共有や支援の方針を確認した。</p>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の調整や校外研修の紹介を行い、職員の専門性の向上に努める。</li> </ul>	<p>実施時間や実施方法を各分掌と調整し現職研修を行った。研修会等の案内をグループウェアで紹介した。一部研究発表会等については申し込み後視聴URLを公開し、職員間で共有できるようにした。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門家との情報交換や研修会、自立活動相談を活用し、各教員の指導力向上に努める。</li> </ul>	<p>研修は職員アンケートをもとに講師と内容を精選し、研修を実施した。日々の教育活動における疑問や不安に対し、校内の専門性の高い教員や外部専門家から指導をしていただいた。記録を学年回覧し、情報の共有を図った。</p>
⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の効率化をさらに進め、教材研究等の時間を十分に確保する。</li> </ul>	<p>業務の精選や効率化を進めることができた。しかし、学校規模の縮小に伴う職員数減のため、職員一人当たりの担当業務が増え、教材研究等の時間確保の視点ではまだ不十分であった。</p>
学校関係者評価を実施する主な評価項目	○人権尊重 ○基礎的環境整備と合理的配慮 ○卒業後を見据えた連携体制の整備	
総合評価	概ね目標を達成することができた。今後も人権を尊重した教育を重視し、児童生徒が安全で安心して生き生きと学び、少人数化した学校組織で充実した学びの実現に向けて学校運営に尽力したい。	